

IBM Decisions Platform for Agribusiness

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM Decisions Platform for Agribusiness は、アグリビジネスでの多くの用途のために、緊密に統合された方法でデータを取り込み、変換し、分析し、維持し、配布することで、より優れたデータ主導の決定を行う基盤を提供します。この「クラウド・サービス」では、お客様が「データ」を受け取ることを可能にする、アプリケーション・プログラム・インターフェース (API)、ならびに iOS ベース、Android ベース、および Web ベースのアプリケーションを使用します。「データ」とは、本 SD に記載されたとおり、「クラウド・サービス」により提供される、気象データ、および農業関連データ (予報、天気図、注意報・警報および図表を含みますが、これらに限定されません。) をいいます。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM Decisions Platform for Agribusiness – Foundation

本「クラウド・サービス」はお客様が農業関連の分析にアクセスできるようにします。「クラウド・サービス」には、農業関連の洞察を提供するために、衛星画像、気象データ、お客様により提供されるコンバイン、トラクター、噴霧器、土壌センサーなどのサポート対象データなどのデータを組み合わせ、地理空間の分析を実行する機能が含まれています。

1.1.2 IBM Decisions Platform for Agribusiness – Yield Model Option 1

本「クラウド・サービス」は、地域レベルの作物収量予測を提供します。

1.1.3 IBM Decisions Platform for Agribusiness – Yield Model Option 2

本「クラウド・サービス」は、さまざまな作物および地域について、産地レベルの作物収量予測を提供します。

1.2 アクセラレーション・サービス

1.2.1 IBM Decisions Platform for Agribusiness – Customization Services

本オファリングは、お客様が受信するサポート対象データを活用するために組み込み型分析を構成およびカスタマイズするサービスを、リモートから提供します。カスタマイズに必要な時間数は、IBM が決定します。「カスタマイズ・サービス」には、お客様のサポート対象データの取り込みのカスタマイズ、お客様から供給されるデータの効果的な活用のために利用できるアナリティクスのカスタマイズ、および成果としての洞察をお客様に提供できるようにするアナリティクスのカスタマイズなどがあります。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション (処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連) に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=E280FA904A4211E79342EA59690D4322>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが 1 回発生することをいいます。本「クラウド・サービス」において、「アイテム」は「エーカー」です。1「エーカー」は、4,840 平方ヤード (4,047 平方メートル)、または 0.405 ヘクタールと定義されます。
- 「時間」は、「クラウド・サービス」の合計使用時間数 (1 時間に満たない場合は切り上げ) を意味します。

4.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスを使用したか否かにかかわらず、リモート・サービスは購入日から 90 日後に満了となります。

5. 追加条件

2019 年 1 月 1 日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 国別の利用制限

お客様は、お客様による「データ」の使用が許可されるか否かを自ら判断し、必要な場合は、「データ」を実行または使用する国 (複数の場合があります。) において、必要なすべての使用許諾、許可、承認もしくは認可を政府機関から取得する責任を負います。また、IBM の本 SD に基づく義務は、上記のことを条件とします。

5.2 イネーブリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」には以下の「イネーブリング・ソフトウェア」が含まれます。

Weather Company Operations Dashboard for Android	https://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displayLIs/11DE6B4E0088700C8525827F003B2CEB?OpenDocument
---	---